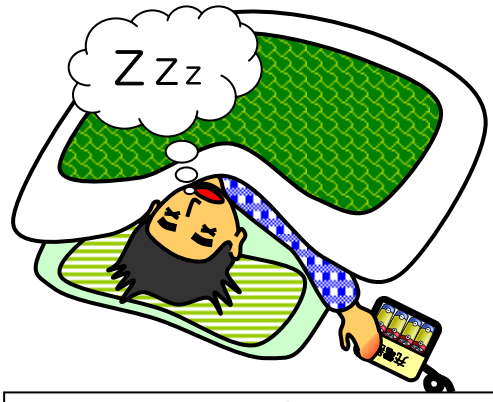
低温やけどに注意！！

今回の試験では、ニッケル水素充電池は、普通に充電しても電池の表面温度が最高で 50℃前後になる場合がありました。また、一度充電した電池を使用しないまま、再び充電（再充電）したところ、50℃を超える温度が 6 時間にわたり持続する場合もありました。

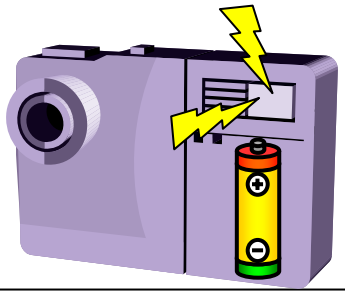
例えば、就寝前に充電を始めた充電器や充電池に、寝返りを打った手足が触れた場合、気が付いたら低温やけどを負っていたなどの危険性があります。特に、機敏な動作をとれない乳幼児やお年寄りにとっては、危険性が増すおそれがあります。

充電する前に充電池を使う機器で電池の残量を確認してから充電しましょう。

また、事故を防ぐためにも、充電器の設置場所や充電池の取扱いにも注意しましょう。



低温やけどに注意しましょう。

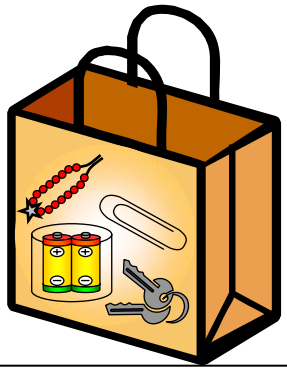


充電する前に充電池を使う機器で電池の残量を確認してから充電しましょう。

電池の持ち運びや保管にも気を付けましょう！

電池のプラスとマイナスを繋ぐ短絡試験では、バッグやポケットの中にありそうな電池とクリップで、ティッシュペーパーが燃え、電池の内容物が噴出・発火する場合がありました。やけどや火災などの事故に繋がる可能性があります。

このようなことは、専用のケースに電池を入れて持ち運びや保管を行う、電気を通しやすい金属製のアクセサリーやクリップなどと電池を一緒にしないなど、日頃から気を付けていれば防ぐことができます。

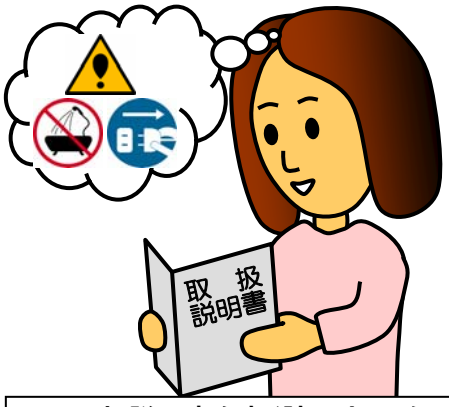


電池の持ち運びや保管に気をつけましょう

取扱説明書を良く読みましょう！

今回実施した試験の内容は、充電器や充電池の取扱説明書では、液漏れ・発熱・発火・破裂・感電等により、やけどやけがのおそれがあるため、「禁止」されている内容です。

例えば、「ついうっかり」して、既に充電した電池を使用せずに再度充電してしまったり、バッグやポケットに電池を無造作に放り込んだりして危険な状態に陥ってしまうことは、誰にでも起こり得ることです。「ついうっかり」を防ぐためにも、充電器や充電池の取扱説明書を良く読みましょう。



取扱説明書を良く読みましょう。

今回の試験は安全を確認して行っています。
家庭などでは絶対まねをしないで下さい。